

## 山岳トイレし尿処理技術ワーキンググループ

### 実証試験の効率化に向けた検討（案）

#### 1．趣旨・目的

平成 15 年度から始まった「山岳トイレし尿処理技術実証モデル事業」はすでに多くの成果を収めているが、モデル事業を本格事業へとシフトするにあたってはいくつかの課題も出てきた。その中で、事業実施にかかる経費の節減、業務の効率化はもっとも大きな課題の 1 つといえる。

そこで、本格事業化に向けての経費節減、業務効率化を図ることを目的として、実証試験方法を検討することとしたい。

#### 2．検討事項

- ( 1 ) 実証試験の効率化に向けての全般的な検討
- ( 2 ) 効率化するにあたっての問題・課題の検討
- ( 3 ) 個々の処理方式における効率化の検討

#### 3．検討方法

効率化に向けた小委員会を設置し、可能な限り早い段階で検討をスタートする。検討結果は、山岳トイレし尿処理技術ワーキンググループに報告し、山岳トイレし尿処理技術実証試験要領に反映させることとする。

#### 4．検討スケジュール

A 案：05 年度に効率化の検討を行い、06 年度から改正された方式で実証試験を実施する。

B 案：05 年度に 1～2 技術の効率化を検討し、要領を改訂する。それをベースに実証試験を実施する。

山岳トイレし尿処理技術実証モデル事業実施（案）参照